

機械器具 65 歯科用充填器

*一般医療機器

歯科用圧入充填器

「JMDN」 70681000

リトラクション コードパッカー

【形状・構造及び原理等】

〔形 状〕 全長 161±1mm



〔原材料〕 ステンレス製

〔原 理〕 作業部がへら状になっており、このへら部分の側面を圧排糸にあてがい、力を加えることにより歯肉圧排糸を歯肉溝内に圧入・充填が容易に行えます。

【使用目的又は効果】

歯肉圧排糸を歯肉溝に圧入充填するために用いる。

【使用方法等】

圧排糸を歯牙の周囲に巻き、圧排糸の中心に本品作業部の側面をあてがい歯肉溝内に圧入・充填し、続いて歯牙周囲に沿って順に圧入します。

【使用上の注意】

〔使用注意〕

- ①本品は未滅菌品であるため、使用に際しては必ず洗浄し、【保守・点検に係る事項】に記載する滅菌条件又は医療機関により確認され、検証された滅菌条件において滅菌を行うこと。
- ②次亜鉛素酸ナトリウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、ポビドンヨード、ホルマリン・フェノール、グルコン酸クロルヘキシジン等は金属腐食を起こす恐れがあるので使用しないこと。
- ③家庭用洗浄剤は金属を腐食させることがあるので使用しないこと。洗浄には歯科用防錆洗浄剤を使用すること。
- ④超酸化水（超酸性水）等は金属を腐食させることがあるので使用しないこと。
- ⑤使用後は防錆洗浄液、精製水等を用いて器具に付着した

血液、体液、組織片等を速やかに除去すること。

- ⑥薬液消毒を行う場合は、薬剤の添付文書に書かれた使用上の注意を守ること。薬剤の種類によっては金属に影響を及ぼすことがあるので注意すること。
- ⑦加熱滅菌器（高圧蒸気滅菌器等）の乾燥温度に注意すること。高温の乾燥は器具が変質又は変色することがあるので注意すること。
- ⑧洗浄、消毒、滅菌後の器具は水分を除去し、充分乾燥させてから保管すること。水分が付着したまま長時間放置すると錆、シミの原因となることがあるので注意すること。
- ⑨錆や腐食の原因となるので、洗浄の際は磨き粉や金属ウール、金ブラシ等を使用しないこと。
- ⑩「もらい錆」が発生する恐れがあるので、錆びている器具と一緒に保管しないこと。また、化学薬品と一緒に収納・保管しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

〔滅菌条件〕

本品使用後は、水洗の後、超音波洗浄器、清掃液、消毒剤などにより付着物を完全に除去した後、充分に乾燥させ、下記に記載する条件又は医療機関により確認され、検証された滅菌条件において滅菌を行うこと。

滅菌方法：高圧蒸気滅菌

滅菌条件：温度 132℃、時間 10 分以上

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

製造販売業者：株式会社 茂久田商会

連絡先：<https://www.mokuda.co.jp>

製造業者：コルテン／ウェルデント社／ドイツ

Coltène/Whaledent GmbH + Co. KG / Germany